

# 地方財政論

期末レポート

# 地方創生

- 政府は「人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指して」地方創生に取り組んでいる。自治体の主体的な「やる気」を喚起すべく地方創生交付金、地方交付税措置も講じられた。
- 具体的な自治体(市町村・道府県)を一つ取り上げ、地方創生に向けて仮に自分が政策担当者(市長!)であれば取り組むであろう政策について述べよ
  - 取り上げる自治体は出身地、「心のふるさと」でも構わない
  - 対象自治体の①現状(人口動態、経済・財政状況)＝実態(エビデンス)を説明した上で、②課題の分析＝論理(ロジック)を行い、③課題解決に向けた提言をせよ。
  - 締切: 期末試験時に回収

# 参考情報

- レポートの枚数はA4で5枚程度
- まちひとしごと創生本部
  - <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/>
- 参考までに: 我が国は70年代以降、「均衡ある国土の発展」を目指して、東京からの経済活動・人口の分散を図ってきました。今回が初めての取り組みではありません。つまり、従来通りの手法(企業の誘致や補助金の増額)で解決する問題ではないことに留意してください。
- さらに: 自治体の観点から、その裁量の枠内で何をできるのかを考えてください。超越的な議論や理想論を語ることは目的としていません。
- ついでに: 人生にリセットがないように、地域の再生も白地から始めることはできません。現状を起点としてどうしたら良いかを考えてください。善意や連帯に頼ることも不可。

# レポートを書く上での注意点

- 実態と論理に基づくこと、結論のいかんは問わない。
- 超越的な議論や「理想論」を語ることは目的としていません。
- 他のレポート等をコピーすることは厳禁(犯罪です)。
- 図表のみ羅列しないこと。箇条書きも不可(ラインやツイッターではありません)。文章としての体裁も重視する
- せっかく勉強しているのだから、**経済学の知見を生かす**こと(あまり一般人・ネット住民目線では考えないように)
- 若い人の「斬新」な主張を期待しています。